平成30年度学校だより
善誘館 NO．２
Ｈ３０．５．１
甲府市立善誘館小学校　校長室

校　訓　　「善行・勤勉・体育」
学校教育目標
○　思いやる心をもつ子
○　よく考え工夫する子
○　元気でたくましい子

風薫る五月～校外学習も始まります～　「すべては子どものために」

甲府盆地を囲む山々は若葉が芽吹き、木々を揺らす風も爽やかな季節を迎えております。新学期が始まり１ヶ月が経ちました。落ち着いて学習に取り組む真剣な眼差し、気持ちよさそうに校庭を走り回る元気な姿、掃除や係の仕事に精を出す様子があちこちに見られます。

先週は、家庭訪問を実施させていただきました。お子様の家庭での様子やこれまでの成長の過程をお聞きすることができ、今後の学校での指導に役立てて参りたいと思います。

今月は、６年生は修学旅行、１～４年生は春の遠足に出かけます。５年生は、林間学校の準備となります。風薫る五月に、美しい自然を感じながら、それぞれの見学場所で、どんな経験をするのでしょうか。小さな草花を発見するのでしょうか。友達と一杯楽しい思い出を作って欲しいと願っています。

ＰＴＡ活動に期待～活動を通して親の交流を～

ＰＴＡ総会に１００名近くの皆様に参加していただき、活動計画案、予算案、役員の承認がなされ、ＰＴＡ活動がスタートしました。今年度も、ＰＴＡ奉仕作業、教育講演会、専門部の活動など、工夫された有意義な活動となることを期待しております。

保護者の皆様には、何かとご多用の中ですが、１年間ＰＴＡ活動にご協力いただけますようお願いいたします。

ＰＴＡ活動には、２つの意義があると思います。
１つは、実際に学校に来ていただき、お子様や学校の様子をご覧いただくこと、もう１つは、保護者同士が子どもに関わる活動を通して、交流を深めることです。子ども同士が仲良くなるには、親同士が仲良くなることが大切なことだと思います。

教科書無償支給制度　物を大切にする心を育てましょう

今年もすべての児童に教科書が無償で配付されています。教科書の裏に、次のような説明があります。「この教科書は、これからの日本を担う皆さんへの期待をこめ、税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。」

学校でも、教科書を大切に使用するよう指導しております。物を大切に使う心と習慣が身に付くよう、ご家庭でもご指導をお願いいたします。

「学年だより」のタイトルに込めた思い

子どもの活動の様子や教師の願いなどを伝えて参ります。お楽しみに！

１年生「はじめのいっぽ」
　小学生としてはじめのいっぽを歩み出した子供たち。その一歩が素晴らしいものになりますように！

２年生「チャレンジ」
　子供たちには多くのことにチャレンジし、得意なことを伸ばし、できることを増やしてほしい。

３年生「サンシャイン」
　チャレンジ精神旺盛に、全員が太陽のように明るく楽しい１年を過ごせるように！

４年生「クローバー」
　４つの❤がある四葉のクローバー。子ども、家族、担任、みんなの４つに幸せがもたらされますように！

５年生「Symphony」
　異なった音色の楽器が調和のある曲を奏でるように子供たちも力を合わせて学校生活を送ってほしい。

６年生「ラストラン」
　小学校最後の１年を一人ひとりが存在感を示しゴール（卒業）に向けて走り切ってほしい。

学力の三要素と集団生活

ＰＴＡ総会の校長挨拶＋α

学力の三要素を木にたとえて説明します。

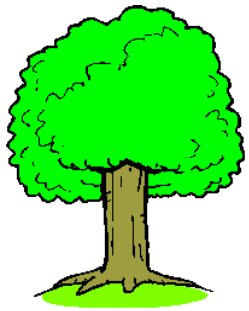
一つ目は、葉に当たる部分である「知識・理解・技能」です。葉が周囲の環境や四季の中で成長し、木全体に必要な養分を生成するように、子どもたちは教師の説明、様々な本や資料、友だちの意見など様々なものから知識や技能を習得していきます。

二つ目は、幹に当たる部分である「思考力・判断力・表現力」です。幹は、緩やかではありますが、着実に太くなっていきます。子ども達も「知識や技能」を活用して「考える力・表現する力」を除々ではありますが獲得していきます。

三つ目は、木を支える根に当たる部分である「関心・意欲・態度」です。葉（知識・理解・技能）や幹（思考力・判断力・表現力）を伸ばすためには、太く丈夫な根が必要です。良い根を作ることで、立派な幹も葉も茂るはずです。学ぶ意欲が満ちあふれたときこそが、大きく成長する時期であります。植物に詳しい方が申すには、丈夫な根を育てるには、根の張りを慎重に見極め、根の少し先に水や肥料をあげるのだそうです。すると根は自分の力でぐっと伸びていくそうです。関心や意欲の育成も同じであり、子どもの実態を把握し、関心や意欲をそそる手だてが大切です。

以上のように、葉と幹と根は、一体として木が成り立っているように、学力の三要素もそれらが有機的に結び合うことによって統一体としての学力となるのです。

また、木が小さいうちは倒れないように添え木をしますが、三本が良いと言われています。学力（子どもの成長）を大きく育てる三本の添え木は、家庭・学校・地域ということになります。三者が木である子どもの成長のために 相互に連携を図り、しっかりと支えていくことが重要です。



一方、木は、自然界では森や林を作り集団で育ちます。１本で生えている木は、台風や洪水で折れてしまいます。子どもも同じように集団の中で育ちます。学校は、知識や考え方を身に付ける場であると同時に、集団生活を通して社会性・人間性を高める場でもあります。

集団生活は、楽しいことばかりではありません。時には自分の思い通りに事が進まず、不愉快に思うことや、辛いこともあるかもしれません。そういうもめ事があるのが集団生活です。もめ事を経験するたびに、子どもたちは、人と人との関係の中で、お互いに折り合いをつけることを学んでいきます。